



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

1963年3月23日創立
週報2760号

Rotary Opens Opportunities

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

2020-21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

第2807回例会

1月は職業奉仕月間

会 長 川畑 宏二
幹 事 菊永 昭二郎
会報雑誌委員長 天本 美信

2021年(令和3年)1月20日

◆例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3-1 山形屋7F 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
◆事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5 F TEL: 099-223-5902 FAX: 099-223-7507

本日の主要
プログラム

クラブ協議会(上期報告・下期計画)



- ① ロータリーソング(手に手つないで)
- ② 会長あいさつ
- ③ 会務報告
- ④ 出席報告
- ⑤ ニコニコBOX披露

会長挨拶

川畑 宏二

下半期へ向けて

2020-21年度の下半期が始まりました。本拠地での例会は、年末のクリスマス家族会と年始の新春合同例会をはさみましたので約1か月ぶりの開催となります。

今年度は、日々変動するコロナ禍の状況がクラブ運営に及ぼす影響を勘案して、年度初めに例会開催に際しての基本姿勢を提示しました。生活圏内のコロナ禍の状況を4段階に分け、各段階ごとに最適な例会の形態を採用するためにクラブ独自の例会開催基準を設けました。初回例会のみステージ1(低感染リスク)対応で、市内で最初のクラスターが発生し感染者数が増加し始めた2回目以降はステージ2(要警戒モード)対応での開催を継続しています。

上半期は、公衆衛生上の安全確保のために例年がない様々な感染防止対策や制約を設けてのクラブ運営となりましたが、会員の皆様のご協力により計画した全ての例会をはじめ、主要なプログラムや奉仕プロジェクトを概ね当初の予定どおり実施することができました。

500回記念学習会(8月8日)では、風呂井ガバナ他地区役員や系統クラブからも参加のもと、直前RI理事の三木明PDG(姫路RC)を講師に迎え「温故知新・日本のロータリー100年、新たな100年に向かって」のテーマで記念講演を開催し、録画データを永久保存版として地区HPからアクセス可能なものとなりました。

今年度の社会情勢や世相を反映した8回のゲスト卓話やガバナ公式訪問、観月会、クリスマス家族会を含む24回の例会と6回の学習会を中断することなく開催することができました。

社会奉仕活動としては、奉仕活動推進委員会・広報IT委員会・ロータリー財団委員会が連携し、地区補助金を活用して、ゆかり学園への奉仕プロジェクトを実施しました。知的障害者の自立支援や近隣小中学生への食育に活用するために製作した教材コンテンツとデジタルサイネージ表示装置一式の贈呈式を12月18日に執り行いました。

西クラブの継続事業の中で、コロナ禍の影響で中断されたものは、サンタローザ友好協会主催の青少年交換事業への支援と鹿児島高校での職業選択フォーラムです。当初、上期に開催される予定だった地区大会は下期へ延期となりました。

新規事業としては、インターアクト委員会主導で玉龍高校の職業講演会の特別講義を支援する新たな青少年奉仕の機会が生まれました。

年間目標の一つであるMY ROTARYの登録率60%やロータリー財団の恒久基金への寄付によるベネファクター認定は上期で達成できました。

広報関係では、「ロータリーの友」に500回記念学習会と観月会の記事が2回掲載されました。ゆかり学園での社会奉仕プロジェクトの取材記事は南日本新聞に掲載され、MBCアナウンス部より民放放送教育協会へ報告されました。

展望委員会ではクラブ戦略計画の原案を策定しました。長期計画の通過点である60周年事業の実行委員会の体制が整い、南実行委員長のもと準備活動が始動しました。下半期もそのモメンタムを発展させてゆけるようクラブ運営と併せて皆様のご助言・ご協力をお願いいたします。

障害者の技能訓練と就労支援プロジェクト(地区補助金活用)

— 2020年12月18日 贈呈式 —



令和2年12月18日、鹿児島市のゆうかり学園にて、障害者の技能訓練と就労支援のため、デジタルサイネージと教材コンテンツ一式の贈呈式を行いました。

地区補助金を活用した本プロジェクトの目的は、ゆうかり学園で飼育されている黒豚の飼育・繁殖・加工・リサイクルのプロセスを教材化することで施設を利用する知的障害者の方々の技能訓練と就労支援に役立てていただくことです。

教材コンテンツは、生命と食物のリサイクルを通じて循環型社会の構築を目指す学園の想いと取り組みをデジタル化したもので、製作にあたっては南日本放送アナウンス部の協力をいただきました。

贈呈品は施設の知的障害者の技能訓練と就労支援、

自立支援だけでなく、近隣の小中学校の子供たちの食育にも利用する予定で広く地域社会で活用できます。

贈呈式は川畑会長の挨拶と贈呈品の寄贈の後、社会福祉法人ゆうかりの水流理事長より感謝状の贈呈と謝辞をいただき、利用者を代表してお礼の言葉をいただきました。

最後に教材のデモンストレーションが行われました。デジタルサイネージには、当学園での黒豚の肥育や出産、出荷などの様子がアナウンサーのナレーションと共に映し出され、利用者・職員の方々が熱心にご覧になられていました。

贈呈式の取材記事は南日本新聞(2020年12月28日)に掲載されました。

■ 前回の例会(1月15日)の報告

会員数	67(61)名
出席数	32名
出席率	52.45%

■ 12月16日例会の報告

出席率	51.61%
訂正出席数	43名
訂正出席率	69.35%

次回
予告

12月27日(水) 12:30~山形屋
クラブフォーラム(職業奉仕)

市内RC例会プログラム

東RC	1月21日(木)	下期抱負(各委員長)	サンデザイン 鹿児島	城西RC	1月26日(火)	卓話	東急REI
北RC	1月21日(木)	外部卓話	アートホテル 鹿児島	南RC	1月27日(水)	クラブ協議会 (上期報告・下期計画)	サンロイヤル
サザンランド RC	1月21日(木)	クラブフォーラム	東急REI	西南RC	1月27日(水)	クラブフォーラム (職業奉仕)	ゆうづき
鹿RC	1月22日(金)	ゲスト卓話 地区職業奉仕委員長 福永 健一様	山形屋	令和RC	1月25日(月)	クラブ協議会 (上期報告・下期計画)	東急REI
中央RC	1月25日(月)	会員卓話	山形屋	鹿児島大学 学務センターRC	2月 5日(金)	未定	鹿児島大学 稲盛記念館
東南RC	1月26日(火)	新入会員卓話	サンロイヤル				

鹿児島西RC

Eメール・アドレス info@kagoshima-w-rc.jp
ホームページ・アドレス http://www.kagoshima-w-rc.jp/

RIのホームページアドレス <https://www.rotary.org/>
日本のホームページアドレス <https://www.rotary.or.jp/>
第2730地区ホームページアドレス <https://www.2730rc.jp/>

